

過去進行形 …がいる	① People were looking at the tyrannosaurus. (人々はティラノサウルスを見ていました。) ② There are many good restaurants in Fukui. (福井にはよいレストランがたくさんあります。)
---------------	--

① 過去進行形「…していました」⇒【was[were]+動詞ing】
 「(過去のある時に)…していました。」という意味になる。
 ② 「(場所)に…がある、いる」⇒【there is[are]…+場所を示す語句】
 過去形にする場合はbe動詞を過去形に変えればよい。
 主語が単数か複数かでisとareを使い分ける。

I went to Fukui with my family two weeks ago.
 私は2週間前に家族と一緒に福井に行きました。
 wentはgoの過去形。go to…で「…へ行った」、withは「…と一緒に」、agoは「(今から)…前に」という意味。

This is a picture from a dinosaur museum.
 これは恐竜博物館の写真です。
 fromは「…出身の、…に由来する」という意味。pictureをfrom～museumまでで説明している。

Many people were looking at the tyrannosaurus.
 多くの人がティラノサウルスを見ていました。
 look at…で「…を見る」という意味。

I found some fossils of animals and plants.
 私は動物や植物の化石をいくつか発見しました。
 foundはfindの過去形。someはいくつかという意味の形容詞。

There are many good restaurants in Fukui.
 福井にはよいレストランがたくさんあります。
 manyは「たくさんの」という意味で、数えられる名詞にのみ使うことができる。

- ① 私は2週間前に家族と一緒に福井に行きました。
- ② これは恐竜博物館の写真です。
- ③ 多くの人がティラノサウルスを見ていました。
- ④ 私は動物や植物の化石をいくつか発見しました。
- ⑤ 福井にはよいレストランがたくさんあります。

未来形 be going to	① I am going to visit Singapore next week. (私は来週シンガポールを訪れるつもりです。) ② Are you going to visit Singapore next week? / Yes, I am. / No, I'm not. (あなたは来週シンガポールを訪れるつもりですか?/はい。/いいえ。)
--------------------	--

- ① 未来を表す表現「…するつもりです」⇒【am[are, is] going to+動詞の原形】
未来の予定を表すことができる。be動詞は主語によって変わる。
- ② 未来の表現の疑問文と否定文はbe動詞の疑問文、否定文と同じ作り方となる。

I'm going to visit Singapore during the "Golden Week" holidays.

私はゴールデンウィークのお休みの間シンガポールを訪れるつもりです。

duringは「～の間ずっと」という期間を表す。

I'm going to stay with my aunt and her husband.

私のおばとおじさんの家に滞在するつもりです。

stay withは主に、「(人)の家に滞在する」の意味で使われる。

They're going to show me around.

二人が私をあちこち案内してくれる予定です。

aroundは「一回りして、巡って」という意味の副詞。巡って見せる=案内するという意味。

How about you?

あなたはどうですか?

相手に意見や説明を求めたり、提案や勧誘をしたりする。

Do you have any plans for the holidays?

あなたはゴールデンウィークは何か予定はありますか?

anyは「何か、いくつか」という意味で、主に疑問文や否定文で使うことが多い。

① 私はゴールデンウィークのお休みの間シンガポールを訪れるつもりです。

② 私のおばとおじさんの家に滞在するつもりです。

③ 二人が私をあちこち案内してくれる予定です。

④ あなたはどうですか?

⑤ あなたはゴールデンウィークは何か予定はありますか?

未来形 助動詞 will	I will make a reservation. (私が予約をしましょう。)
--------------------	---

未来を表す助動詞will「…でしょう」「…するつもりです」⇒【will+動詞の原形】
「これから…しよう」とその場で決めた予定や未来のことを表す。
また、未来のことについて「…するつもりです」(意志)、「…でしょう」(推量)を表す。
会話などでは、I will=I' ll, You will=You' llのように短縮形を使うことが多い。
疑問文は主語の前にwillを置き、否定文はwillのあとにnotを置く。

What are we going to do today?

今日私たちは何をするつもりですか？

what(何を)を尋ねる疑問文で、未来の予定を聞くときに使う。

You' ll see the Merlion soon.

あなたはもうすぐマーライオンが見えます。

willなど助動詞の後ろの動詞は主語や時制に限らず原形になる。soonは「すぐに」という意味。

After that, we're going to have lunch.

そのあと、私たちは昼食をとるつもりだ。

After thatは「そのあと」を意味し、thatは、指示代名詞で前に出てきた文のことを指す。

What do you want to eat?

あなたは何が食べたいですか？

want to+動詞の原形は「…したい」という意味。この場合の不定詞は名詞的用法となっている。

I' ll make a reservation.

私が予約をしましょう。

このmakeは「…をする、行う」という意味。「make a reservation」で「予約をする」という意味。

① 今日私たちは何をするつもりですか？

② あなたはもうすぐマーライオンが見えます。

③ そのあと、私たちは昼食をとるつもりだ。

④ あなたは何が食べたいですか？

⑤ 私が予約をしましょう。

SV00 動詞 show	I will show you the Merlion. (私はあなたにマーライオンを見せましょう。)
--------------------	--

「(人)に(もの)を見せる」⇒【show+人+もの】
 また、意味は同じだが、「show+もの+to 人」と書き換えることが可能。
 他にもgive(～に…を与える)、teach(～に…を教える)などがある。
 buy(～に…を買う)も同じように使えるが、書き換えのときtoではなくforになる。
 動詞の意味によりtoとforが変わってくるので注意が必要。

I'll show you the Merlion.

私はあなたにマーライオンを見せましょう。

willは未来意志の助動詞で、「…するつもりだ」という意味。

It's 8.6 meters tall, and it weighs 70 tons.

それは高さ8.6メートル、重さは70トンです。

Itは「the Merlion」を指す。この場合、tallは高さを表す名詞でweighは「…の重さがある」という動詞。

A lot of people are taking pictures of it.

たくさんの人がその写真を撮っています。

「a lot of」は「たくさん」の意味。are takingは現在進行形を表している。

I bought some gifts for everyone.

私はみんなにいくつかお土産を買いました。

boughtはbuyの過去形。someは「いくらかの～、いくつかの～」という数量を表す。主に肯定文で使う。

I'll give you these Merlion cookies, Josh.

ジョシュ、私はあなたにこれらのマーライオンクッキーをあげます。

「give+人+もの」で「人にものを与える」という意味。

① 私はあなたにマーライオンを見せましょう。

② それは高さ8.6メートル、重さは70トンです。

③ たくさんの人がその写真を撮っています。

④ 私はみんなにいくつかお土産を買いました。

⑤ ジョシュ、私はあなたにこれらのマーライオンクッキーをあげます。

SVOC 動詞 call	People call the ferris wheel the Singapore Flyer. (人々はその観覧車をシンガポールフライヤーと呼びます。)
--------------------	---

「AをBと呼ぶ」⇒【call+A+B】
callは後ろに(代)名詞を2つ続けて、「AをBと呼ぶ」という意味になる。
このときA=Bの関係になっており、showやgiveとは使い方が少し異なる。

People call it the Singapore Flyer.

人々はその観覧車をシンガポールフライヤーと呼んでいます。

この場合はAがit, Bがthe Singapore Flyerとなる。

It took up to 165 meters.

それは165メートルの高さまで連れていきました。

takeは「連れていく」、up toは「(最大)…まで」という意味。

We went shopping, too.

私たちは買い物にも行きました。

wentはgoの過去形。「go …ing」で「…(し)に行く」という意味。

I found four different languages on Singapore money.

私はシンガポールのお金に4つの異なる言語を発見しました。

foundはfindの過去形。

My uncle speaks Tamil and English, so I can communicate with him.

私のおじはタミル語と英語を話すので、私は彼と意思の疎通をすることができます。

soは「だから、それゆえ」という意味の接続語。接続語の後ろは文(主語+動詞～)になる。

① 人々はその観覧車をシンガポールフライヤーと呼んでいます。

② それは165メートルの高さまで連れていきました。

③ 私たちは買い物にも行きました。

④ 私はシンガポールのお金に4つの異なる言語を発見しました。

⑤ 私のおじはタミル語と英語を話すので、私は彼と意思の疎通をすることができます。

苦情 謝罪	<p>① I have a problem with my room. (私は自分の部屋に問題があります。)</p> <p>② The air conditioner doesn't work. (エアコンが故障しています。)</p> <p>③ I apologize for the trouble. (その問題をお詫びします。)</p>
	<p>① have a problem withで「…に問題がある」</p> <p>② …don't (doesn't) work. 「…が故障している」</p> <p>③ apologize for… 「…をお詫びします」</p> <p>上記のように会話表現の言い回しは前置詞までしっかりと覚えておく必要がある。</p> <p>※ tool boxの表現をしっかりと抑えておく。</p>
	<p>I have a problem with my room.</p> <p>私は自分の部屋に問題があります。</p> <hr/> <p>①と同じ。</p>
	<p>The air conditioner doesn't work.</p> <p>エアコンが故障しています。</p> <hr/> <p>②と同じ。</p>
	<p>Can you check it, please?</p> <p>それを調べていただけますか？</p> <hr/> <p>itは前に出てきたair conditionerを指す。</p>
	<p>Certainly, we'll check it right away.</p> <p>もちろんです。私たちがすぐにそれをお調べします。</p> <hr/> <p>certainlyは返事で「承知しました」という意味。right awayは「すぐに」という意味。</p>
	<p>I apologize for the trouble.</p> <p>その問題をお詫びします。</p> <hr/> <p>③と同じ</p>
	<p>① 私は自分の部屋に問題があります。</p> <hr/>
	<p>② エアコンが故障しています。</p> <hr/>
	<p>③ それを調べていただけますか？</p> <hr/>
	<p>④ もちろんです。私たちがすぐにそれをお調べします。</p> <hr/>
	<p>⑤ その問題をお詫びします。</p> <hr/>